

神戸港からのたより

港 の 風

MINATO

NO

KAZE

PORT OF KOBE

vol. **58**

2024

秋号



特集

須磨海浜公園全面リニューアル／神戸港発着のフェリー

港の風

神戸港からのたより

Vol. 58

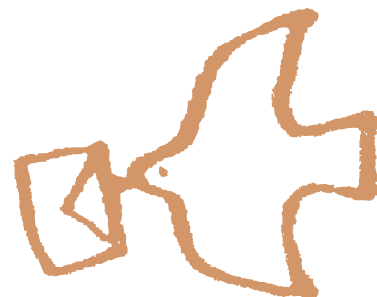
2024年秋号

CONTENTS

- 01 人みなと
神戸税関長
馬場 義郎氏
- 02 特集01
まるっと新しくなって再出発
須磨海浜公園全面リニューアル！
- 06 特集02
神戸港発着のフェリー
- 08 船インフォメーション
- 12 港で働く人
内海水先区水先人会
小森 訓史さん
川西倉庫株式会社
宅間 光佳子さん
- 13 神戸港を行き交う船
コンテナ船 ONE Humber
- 14 神戸空港NEWS
- 15 神戸港TOPICS
- 16 神戸海洋博物館・カワサキワールドだより
- 18 神戸港貿易統計データ
神戸税関こぼれ話
テニスボールの輸入について
- 20 神戸港イベントNEWS



2024.8.23. ポートアイランド北公園から望む神戸港



「港の風～神戸港からのたより」

編集・発行 一般財団法人 神戸観光局 港湾振興部
〒650-0042 神戸市中央区波止場町2番2号
電話：078 (327) 8981 FAX：078 (332) 4739
<https://www.kobe-meriken.or.jp/>

まるっと新しくなって再出発 須磨海浜公園全面リニューアル！

2024年6月1日に神戸須磨シーワールドがオープンして、全面リニューアル完了となった須磨海浜公園。スマスイ時代の名残を随所に残しつつ新しく生まれ変わった神戸須磨シーワールドと須磨海浜公園をご紹介します。



新旧が融合する須磨海浜公園

昨年9月に一部施設が先行オープンし、賑わいを見せていた須磨海浜公園。今年6月1日の神戸須磨シーワールドグランドオープンによって全面リニューアルとなり、更なる盛り上がりを見せています。すっかりモダンで綺麗な姿に生まれ変わった須磨海浜公園。神戸市民の間では、嬉しい気持ちはありながら、どこか少し寂しいという声もよく聞かれます。しかし目を凝らし、耳を澄ませば、新しい公園を楽しみつつ、かつての公園の姿を懐かしく感じられることに気が付くはずです。

例えば、昔からある和田岬灯台。1964年に和田岬から移設されて以降、須磨海浜公園を見守ってきました。当たり前になっているので、目に馴染んで、あまり気に留めたことが無い方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか？新しい遊具で遊ぶ子どもたちでにぎわう松の杜ヴィレッジと真っ赤な灯台。新旧のコントラストが楽しめるのも今の海浜公園の良いところかもしれません。そんな旧須磨海浜公園の名残もあわせて、新しくなった公園をご紹介します。



松林の中に佇む和田岬灯台



新しくオープンした神戸須磨シーワールド

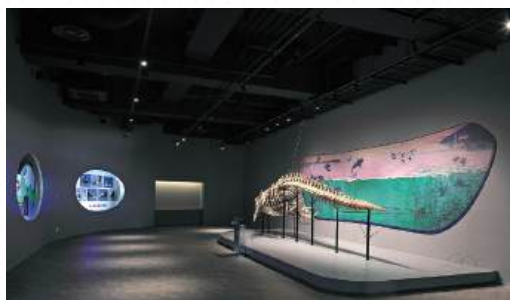
スマスイ閉館から1年 神戸須磨シーワールド OPEN!

ORCA STUDIUM オルカスタジアム

これまで関東・中部地方でしか見ることができなかったシャチたちが神戸へやってきました! トレーナーと親子のシャチ2頭による大迫力のパフォーマンスは圧巻です。1階には、シャチの生態について学べる「オルカラボ」や、水中からシャチの様子を見ながら食事を楽しむことができるbuffetレストラン「ブルーオーシャンオルカスタジアム」も併設されています。



ダイナミックなパフォーマンスが魅力のオルカパフォーマンス



シャチの生態を学べるオルカラボ



シャチを見ながらお食事できる「ブルーオーシャンオルカスタジアム」

AQUALIVE アクアライブ

「水の一生」をテーマとして海川で生息する生物を展示。足を踏み入れて最初に目に入るのは、大きな滝です。雨水が山から湧き出て河となり、最後には海となる。このような水の一生をたどったストーリーになっています。シンプルながら意匠が凝らされたデザインのディスプレイは、まるで本物の自然のようで飽きることなく眺められます。

水族館の重要な役割に挙げられる「生きものの保全」神戸須磨シーワールドでは、須磨海浜水族園より引き続いて、絶滅が危惧される種の保全活動を行っています。また、鳴門の渦潮を再現した水槽や、神戸市民には馴染みのあるイカナゴを展示する水槽など、瀬戸内海の原因風景を再現した展示も見どころです。



エントランスには大きな滝



普段見ることの少ない
元気に泳ぐイカナゴ

渦潮を再現した水槽

DOLPHIN STUDIUM

ドルフィンスタジアム

イルカたちのスピーディーなパフォーマンスを観覧できるほか、イルカとのふれあい体験ができる「ドルフィンビーチ」があります。水中からイルカたちを観察できる「ドルフィンホール」では、スイスイ気持ちよさそうに泳ぐ姿を見ることができます。そのほか地産地消にこだわったフードコートや、イルカグッズを中心に扱うお土産屋さんもあります。



スイスイと泳ぐイルカたち



イルカとのふれあいが体験できる「ドルフィンビーチ」

スマコレクション

アクアライブの1階部分に位置する、無料で観覧できるエリア。須磨海浜水族園のアマゾン館などにいた淡水魚などが展示されています。雰囲気は違えど、スマスイを思い出して懐かしい気持ちになるエリアです。また、須磨海浜水族園の歴史を紹介するパネルや、歴代の水族館の模型等の展示も。壁の一部には、スマスイで使用されていたスタンドグラスが再利用されています。新しくなった神戸須磨シーワールドでの鑑賞の締めくくりに、須磨海浜水族園の歴史を振り返りながら魚たちを観察してみてもは。



スマスイの歴史を展示



スマスイのスタンドグラスを再利用



今でも会える！スマスイの魚たち

お土産



海のいきものの魅力がぎゅっとつまったグッズが豊富に並ぶ「ブルーフラッグ オルカスタジアム」。シャチグッズを多く取りそろえるほか、神戸須磨シーワールドオリジナルのグッズも多く並びます。オルカパフォーマンスを前列で楽しみたい方に必須のポンチョもここで購入できます。

BE KOBEひろば

メリケンパークをはじめとして、神戸市内様々な場所に設置されている「BE KOBE」。6つ目の「BE KOBE」モニュメントが須磨海浜公園に誕生しました。須磨の「BE KOBE」は様々な色のアクリル板が埋め込まれており、パッと目を引くカラフルな佇まい。実はこのアクリル板も須磨海浜水族園の名残。スマスイに入園してすぐの場所にあった「波の大水槽」のアクリル板に色を付けたものが再利用されています。背景にビーチがある絶好の“映え”スポット。訪れた際、ここでの記念撮影は必須です！



松の杜ヴィレッジと 公園内のひろば

昨年9月にオープンした松の杜ヴィレッジも一周年を迎えました。青々とした芝生と木陰が気持ち良い松林は四季を通して賑わう人気スポットに。飲食店やスポーツショップは、海を感じながら賑やかに食事やお買い物を楽しむのうってつけです。週末に開催されるマルシェなどのイベントも新たな見どころのひとつ。過ごしやすい季節、潮風を感じに訪れてみてはいかがでしょうか。



おいしい匂いが漂う松の杜ヴィレッジ



マルシェイベントの様子



自転車で散策も

神戸港発着のフェリー

神戸港は、フェリー航路が充実した国内有数の港であり、新港第3突堤から2航路、六甲アイランドから3航路の内航フェリーが就航しています。令和5年は、約72万人の旅客、19万台の自動車、36万台のトラックを運んでおり、新港第4突堤からは国際フェリーも就航しています。

3つのフェリーターミナル

1

神戸三宮フェリーターミナル ↔ 高松・小豆島／宮崎

新港第3突堤に位置し、高松・小豆島航路と宮崎航路のフェリーが2社就航しています。三宮から連絡バスで約5分、徒歩では約20分と、アクセスの良い場所にあります。阪神高速道路神戸線や湾岸線へのアクセスにも優れています。



ジャンボフェリー

↔ 高松・小豆島(坂手)

2022年にデビューした「瀬戸内海に浮かぶテラスリゾート」がコンセプトの新船「あおい」。神戸港のフェリーで唯一お昼の瀬戸内海クルーズを満喫できます。



宮崎カーフェリー

↔ 宮崎

2022年に「フェリーたかほ」「フェリーろっこう」の2隻がデビュー。船内のレストランはバイキング形式で、宮崎名物を味わえます。

2

六甲アイランドフェリーターミナル ↔ 大分／北九州／新居浜

六甲アイランド北東部に位置し、大分航路・北九州航路・新居浜航路のフェリーが3社就航しています。阪神・阪急御影駅、JR住吉駅、六甲ライナーアイランド北口駅からフェリー乗り場まで連絡バスが運行しています。阪神高速道路湾岸線へのアクセスにも優れています。



商船三井さんふらわあ

↔ 大分

太陽マークがトレードマークの「さんふらわあ ごーど」「さんふらわあ ぼーる」の2隻が就航。展望大浴場をはじめとする船内設備がリニューアルされ、より快適な船の旅が楽しめます。



阪九フェリー

↔ 北九州(新門司)

2020年にデビューした「せつつ」「やまと」の船首部分に作られた展望ルームでは、船長目線の景色が広がります。



オレンジフェリー

↔ 新居浜

深夜に神戸を出発する「おれんじホープ」。早起きし、早朝の瀬戸内海を楽しむことができます。

3 神戸ポートターミナル ↔ 上海

新港第4突堤に位置し、税関や出入国、検疫などのCIQ設備を有し、海外との窓口となっています。ポートライナーのポートターミナル駅に直結した利便性の高いターミナルで、上海航路の日中国際フェリーが寄港しています。



日中国際フェリー

↔ 上海

2024年6月からは新造船「鑑真号」が就航しており、将来的には旅客サービスが開始される予定です。

モーダルシフトの推進

フェリーは、同じ量の貨物をトラックで輸送する場合に比べて、CO2排出量が約5分の1と環境に優しいこと、昨今の2024年問題でトラックドライバーの労働時間規制等による物流の停滞を背景に、陸上運送から海上運送への輸送転換「モーダルシフト」の受け皿として期待されています。神戸市港湾局では、カーボンニュートラルの推進や2024年問題の対応として、各種メニューを創設し、モーダルシフトを推進しています。



モーダルシフト推進事業

● 補助対象者	荷主または貨物運送事業者（※貨物運送事業者が申請する場合は荷主との連名による者に限る）
● 要件	自動車または航空機から船舶への輸送の転換を図るもので、神戸港を利用するもの
● 補助金額	基礎単価（円/km）＝海上輸送距離（km）÷転換後1輸送あたりの全体輸送距離（km） 補助金額＝基礎単価（円/km）×転換後1輸送あたりの全体輸送距離（km）×輸送回数（回）
● 限度額	300万円/事業（予算の範囲内） ※1事業まで申請可能
● 補助対象期間	申請日～2025年1月31日 ※輸送が完了していること
● 申請期間	2024年4月1日～12月27日
● 備考	1申請当たり2経路までとし、補助金の額は経路ごとに算出したものを合算する。 同一経路を往復する場合は1経路とみなす。 輸送距離は、国内輸送部分に限る。 海上輸送の占める割合が50%未満のものは補助対象外 申請経路において、貨物のバンニングやデバンニングのための経路以外は原則認めない。

市HP：<https://www.city.kobe.lg.jp/a45623/business/kowanjigyo/cargo incentives.html>



神戸市港湾局の担当者からひと言

フェリーの船内は、新造船やリニューアルにより、快適な空間が整備されています。移動の新しい選択肢として、フェリーも加えていただければと思います。また、フェリーは公共交通機関としてだけでなく、貨物輸送という重要な役割を果たしています。神戸市港湾局では、フェリーを利用した海上輸送へのモーダルシフトの支援などを行っておりますので、お気軽に、神戸市港湾局物流戦略課までお問い合わせください。

神戸市港湾局 物流戦略課 池田 れいあ

